

環境から考える スロー・イノベーションと地域力

本セミナーでは、イノベーションの質的な側面に焦点を絞り、スロー、スマート、サステナビリティ、生物多様性といったキーワードを手がかりに環境の視点から新時代に求められるイノベーションについて考えます。

●日時

2009年 **10月22日(木)** 13:30~16:30

●会場

長浜バイオ大学 中講義室①
(滋賀県長浜市田村町 1266)

【基調講演】

「創造的破壊としてのスロー・イノベーション ーグリーン・ニューディールを超えてー」

中野 桂 氏 (滋賀大学環境総合研究センター 副センター長・准教授)
只友 景士 氏 (滋賀大学経済学部 准教授)

【パネルディスカッション】

パネリスト: **塩見 直紀 氏**

(半農半X研究所代表)

持続可能な小さな農ある暮らしをベースに天職(ミッション)をおこなうライフスタイルを「半農半X」と呼び、提唱。

大石 尚子 氏

(同志社大学大学院ソーシャル・イノベーション研究コース
在籍・染織講師)

糸紡ぎワークショップなどを通じて暮らしの在り方を考える「スロークローズ」を提唱し、衣の自給の社会的意義と可能性を研究している。

菊池 玲奈 氏

(滋賀経済同友会 企業と生物多様性研究会)

多様な人々の「思い」を引き出し、自然再生や活性化に結びつけるための「協働プロジェクト」のコーディネーターとして活動。

中野 桂 氏

(滋賀大学環境総合研究センター 副センター長・准教授)

コーディネーター: **只友 景士 氏** (滋賀大学経済学部 准教授)

■ 参加費: 無料

■ 定員: 100名

■ お問い合わせ・申込先

滋賀大学 学術国際課
滋賀県彦根市馬場1-1-1
TEL 0749-27-7521
FAX 0749-27-1174

【主催】滋賀大学



ワークショップの模様
(糸から糸へ、そして織物へ)



外来生物法で「特定外来生物」に
指定されたセイヨウマルハナ蜂



稜部の稲刈り